

単元名：

平行線と線分の比

(全8時間扱い中 第3時)

授業日時 令和3年10月21日(木) 第4校時

授業学級 3年D組

授業会場 3年D組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

平行線にはさまれた線分の比が $AP:PB=DQ:QC$ となる事を見いだすことができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：与えられた図形における線分の長さの求め方を考える場面
- ・活動：補助線を引き、今まで学んだ三角形の相似についての知識を生かし求める

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 今回考える図形を前回の図形と比較できるよう電子黒板で提示し、問題を把握する。	○「この図形の辺 QC はどのように求めればよいでしょうか。」 ◇図形内に三角形がないことを認識させる。。	5
	【学習問題】 辺 QC をどのように求めればよいだろうか。		
	2. 問題を解くための方針を立てる。	○「求めるためにはどうしたらよいですか」 ◇悩んでいる様子があったら今まで未知な問題をすでに知っている形にしてきたことに触れる。 ○「補助線を利用して求めましょう」	5
	【学習課題】 補助線を利用して辺 QC を求めよう。		
展開	3. 辺 QC の長さを求める。	◇机間指導によりどんな補助線の引き方があるかを確認し、後に全体で共有する。	5
	4. 全体で補助線の引き方や生徒の気づきを共有しまとめる。	○「どんな補助線を引いて求めましたか。」 ○「補助線を引いたことで分かる線分の比の関係はありますか。」 ○「その比を証明するために長さを求めるための補助線が利用できないでしょうか」 ◇今まで相似関係を利用して比の関係を示したことにふれる。	25
	5. 確認問題に取り組む	【評価】 与えられた図形の辺の長さが分かり、図形内にどんな線分の比があるかわかる。	5
	5. 本時の学習を振り返る	○「今日の授業の振り返りを書きましょう。」 ◇補助線と線分の比の関係の二点に触れる。	5